

## ディボーション質問表



今週の13～15章は、「地の果て（使徒1：8）までの宣教」（13～28章）の最初の部分です。今週の箇所を更に区分すると、パウロの第一回伝道旅行（13～14章）とエルサレム会議（15章）に分けられます。第一回伝道旅行の地図は下記のページを参考にしてください。

<http://moriyabaptist.net/sermon/s070603.html>

### 24日（月）使徒の働き 13：1～12節 キプロス伝道

1. 11：19～26節を読んで、アンテオケの教会がどのように誕生し、成長していったのかを確認しましょう。この教会から中心メンバーである、バルナバとサウロが宣教の為に送り出されています。彼ら二人を派遣するように働きかけたのは、誰でしょうか？
2. サラミス（5節）とパポス（6節）はキプロス島の中にある場所です。バルナバとサウロにとって、この島はどのような場所だったのでしょうか（4：36節）？
3. キプロス島で彼らはどのように宣教しましたか？ またその結果どのような事が起こりましたか？

### 25日（火）使徒の働き 13：13～52節 ピシデヤのアンテオケ

1. ピシデヤのアンテオケで安息日に会堂でしたサウロの説教が書かれています。その内容をまとめてみましょう。
2. サウロの説教の結果、どのような事が起こっていますか？ それに対して彼らはどのように対処しているのでしょうか？

### 26日（水）使徒の働き 14：1～20節 イコニオム、ルステラでの宣教

1. ピシデヤのアンテオケを追い出されたパウロとバルナバは、イコニオムに行きます。そこで彼らがした事はどのような事でしょうか？ その結果はどのような事が起こりましたか？
2. ルステラで起こった出来事を観察してみましょう。どんな事が起こり、それに対してどのように対処しているのでしょうか？

### 27日（木）使徒の働き 14：21～28節 アンテオケへの帰還

1. デルベまで行ったパウロとバルナバは、それまでに歩いて来た町をもう一度通って宣教旅行の発地であるアンテオケに帰って行きます。彼らとその帰り道にした事を観察してみましょう。
2. パウロとバルナバはアンテオケに帰ってから、どのような事をしていましたか？ 彼らは何故そのようにしたと思いますか？

### 28日（金）使徒の働き 15：1～21節 エルサレム会議

1. なぜ使徒と長老たちは、エルサレムで会議をもつ必要があったのでしょうか。初代教会が直面しなければならなかった問題は何でしたか（1～6節）？
2. ペテロとヤコブがどのように問題（教義上の対立）を解決させたか、その知恵を見つけてください。くだした知恵の内容（7～21節）はどのようなものでしたか？

### 29日（土）使徒の働き 15：22～35節 エルサレム会議の決議

1. 21節までのところで結論をだした使徒と長老たちは、その後その決定を知らせる為にどのようにしていますか？
2. バルナバとパウロ以外にユダとシラスと一緒に派遣したのは何故だと思いますか？ 彼らによって伝えられた知らせを聞いたアンテオケの人々はどのように感じましたか？